

三次元画像可視化システム

VOLUME EXTRACTOR

ボリューム エクストラクター

使いやすさアップ!

Version 3.4.0.0

バージョンアップ内容

- 等値面平滑化機能の追加
等値面生成された3角形をバイラテラルフィルタ機能により、平滑化出来ます。その結果、スライス画像間で生じる段差を滑らかにします（図1）。
- Mesh Editing 機能の自動整形機能の強化
ポリゴン面の自動整形機能（穴埋め、面の向き修正、不要な物体の除去）をより強力にしました。その結果、どの3Dプリンタにも造形出力が可能になりました。
- スタックされたDICOM画像の読み込み機能の追加
スライス画像をひとつのファイルにまとめたDICOM画像フォーマットを読み込めるようにしました。
- 自動伝達関数の改良
3次元画像（超音波画像、CT画像、MRI画像、コーンビームCT画像など）に対して、全自動でボリュームレンダリング用の伝達関数を作成します（図2）。その結果、リアルな3次元画像を簡単に表示出来ます（図3）。
- 日本語・英語メッセージ切り替え
日本語と英語のメッセージ切り替えをPreferenceダイアログで行えるようにしました。
- 他の改良点
試行版にMeshEditing機能を追加しました。その結果、試行版はファイル出力以外の全ての機能を使う事が出来ます。また、3Dファイルとして、CarlZeiss社とBeamSense社の画像フォーマット（vgi、3dv）に対応しました。

カスタマイズサービス

日常業務等でお悩みの場合、何でもご相談ください！

- ・画像処理フィルタの作成
- ・処理の自動化
- ・パラメータ設定
- ・プログラム開発
- ・3Dプリンタ用造形モデル作成

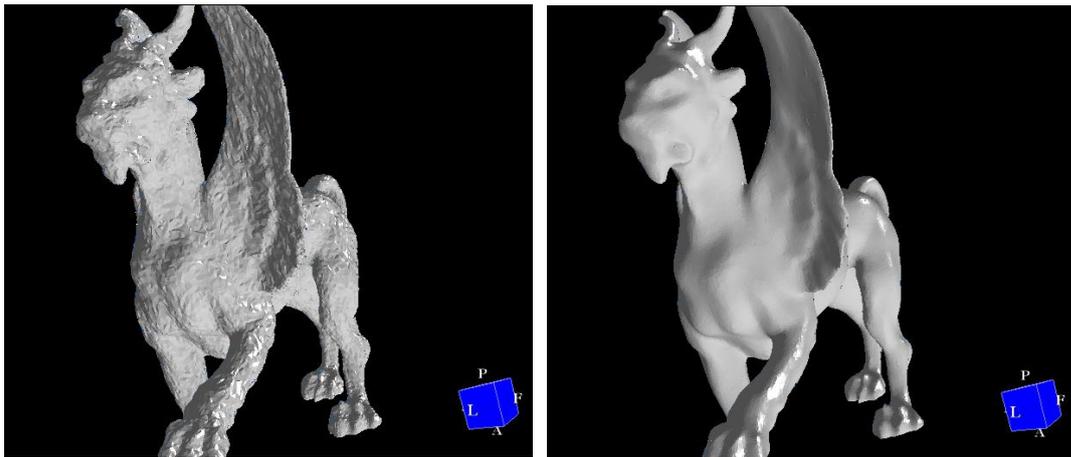


図1 バイラテラルフィルタ機能（平滑前、平滑後）

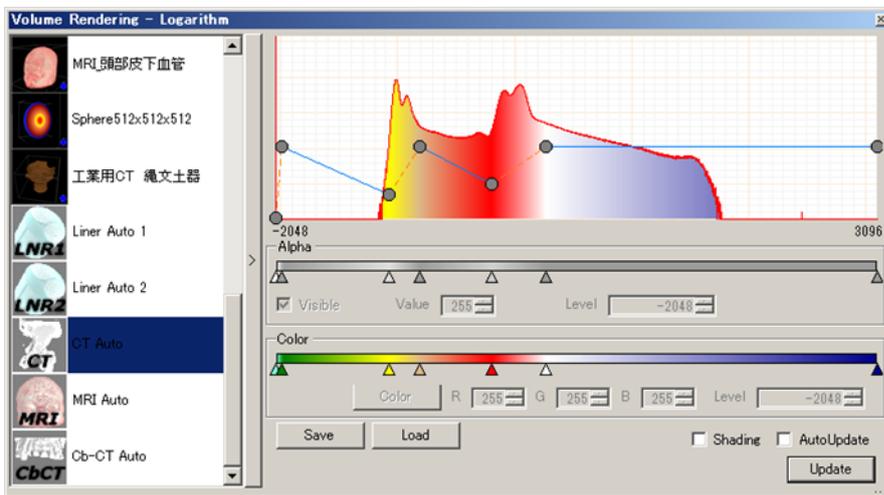


図2 伝達関数の自動計算

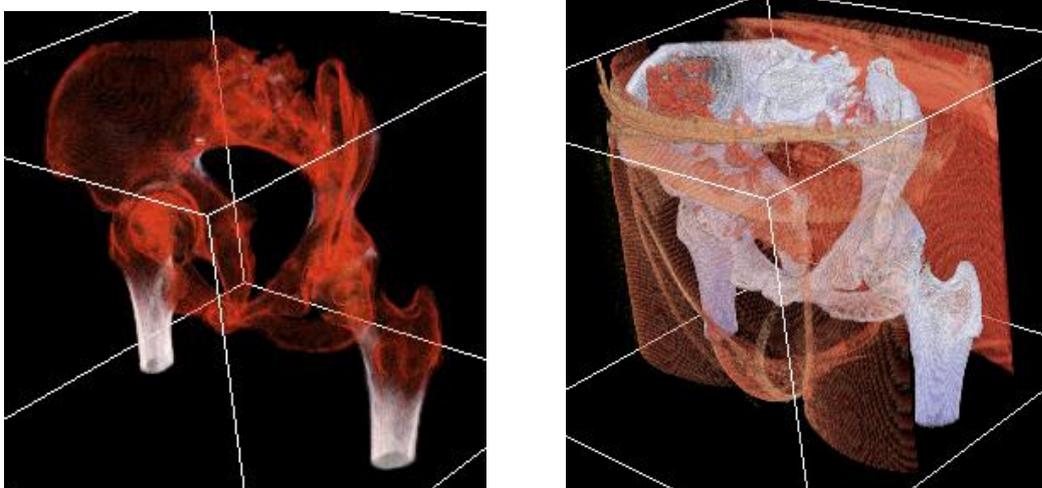


図3 ユーザ定義の伝達関数による画像、自動計算された伝達関数による画像